



豊田市立萩野小学校たより

第343号 令和8年3月12日発行

萩野の子



萩野小HP



醤油搾り

2月27日

親

ハギノシヨウ

4月18日に行った醤油仕込み作業。その後、5・6年生が天地返しを行い、約10か月間かけて発酵・熟成させました。そして、醤油作り最後の工程となる「醤油搾り」を行いました。講師に長野県在住の井上さんをお迎えし、醤油の搾り方を教えていただきました。樽のふたを開けると、きれいな諸味ができあがっていました。5・6年生が丁寧に天地返しや温度管理等を行った成果です。樽にお湯を注ぎ諸味を薄め、袋に入れていきます。「ふね」と呼ばれる専用の機械に諸味を包んだ袋を均一に積み重ね、圧力をかけながら搾り出しました。「搾りたて」の貴重な醤油、「生揚げ醤油」は、一般的な醤油より色が薄く、透明感のある赤褐色です。味見をすると、ほんのりと甘みがあり穏やかな味がしました。少しだけ、生揚げ醤油を取り分け、大部分は火入れして色・味・香りを整えました。6年生は、講師の方の話をよく聞いて、醤油搾りの工程を確実にを行い、最後の片づけまでみんなで協力して終わることができました。



今年度も、本当においしい醤油ができ上がりました。おいしさの決め手は、細かい管理だそうです。5・6年生のみなさん、ありがとうございました。



そして、醤油搾りを行うにあたり、かまどの設置や薪に火をつける作業など地域コーディネーターの西さん、山本さん、ボランティアの雅範さん、郁美さんにお世話になりました。お力添えに感謝いたします。

合唱指導

2月12日～

伸

ハギノシヨウ

今年度の卒業式は、卒業生と在校生の歌を分け、それぞれが合唱を行います。6年生5名での合唱。一人一人の歌声がとても重要です。みんなで選んだ曲は『大切なもの』。当たり前過ぎていく時間やそばにいる友人の大切さに、離れてから気づく切なさや感謝の気持ち、友との絆と繋がり、「くじけそうなとき」に仲間との思い出を支えに前に進もうとする強い気持ちなどが歌詞に込められています。

今年度も、川合先生を講師として迎え、合唱指導をしていただきました。歌に気持ちをのせることを教えていただき、技術だけでなく思いのこもった歌へと上達しました。いよいよ卒業式が近づいてきました。当日がとても楽しみです。



6年生を送る会

3月5日



6年生に「おめでとう」「ありがとう」の気持ちを伝えようと、2～5年生が「6年生を送る会」を行いました。前日に2～5年生が準備した会場は、華やかで温かく、会が始まる前からわくわくしました。2年生の出し物は、「6年生クイズ」でした。「○○さんのいちばん楽しかったのは、次のうちどれでしょう」など、一人一人にまつわる三択クイズでした。「答えは、○○さんに聞いてみましょう」と6年生が自分で発表する場面を設定し、大いに盛り上がりました。3年生は、「一か八か あみだくじ」、4年生は、「全身ゆびスマ」を企画し、全校児童が楽しくふれあいました。そして、「思い出ムービー」で6年間の思い出を振り返りました。低学年のころの写真が映し出されると、6年生は、少し照れ笑いをしつつも、昔を懐かしんでいました。お世話になった先生方のメッセージが流れると、嬉しそうに映像に魅入っていました。



最後に、2～5年生が「ありがとう6年生」の歌を歌い、心のこもったメッセージ入りの色紙をプレゼントしました。萩野小学校は、少人数ゆえに、6年生一人一人が身近であり、たくさんお世話になった分、「ありがとう」「おめでとう」の気持ちも大きく、心温まる会になりました。

卒業制作

2月半ば～



国道33号線を上がってくると、砂利駐車場前の「萩野小へ ようこそ」の看板が目につきます。老朽化のため上部が破損してしまったため、6年生が卒業制作として、新しいものを制作しました。電動糸のこぎりや電動ドリルを使い、木材を加工しました。そして、ペンキであざやかな色を付け、文字やマスコットキャラクターのはぎのん・はぎりんをボンドで貼り付けました。卒業生5名が心を込めて作ってくれた学校看板。とても丈夫で、素晴らしい出来栄です。3月17日に、お披露目の除幕式を行う予定です。



ミニ三角山整備

3月8日



毎年12月に行っていた三角山整備が中止になり、山の様子が心配でした。そこで、地域の方と保護者の有志を募り、ミニ三角山整備を行いました。木の枝や石、土砂を取り除き水の流れ道を確保したり、登山道の安全を確認したりしました。次年度は、伝統的な三角山登山を実施できればと思います。ご協力いただいた地域、保護者の皆様ありがとうございました。

